

事業復活支援金(政府原案) 法人上限最大250万円を給付 個人事業主上限最大50万円

- *対象者：新型コロナウイルスの影響で、2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が50%以上または30%～50%減少した事業者(中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主)
- *開始時期：補正予算成立後、所要の準備を経て申請受付開始予定
- *給付額：5ヶ月分(11月～3月)の売上高減少額を基準に算定
- *上限額

売上高減少率	個人	法人		
		年間売上高1億円以下	年間売上高1億円超～5億円	年間売上高5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%～50%	30万円	60万円	90万円	150万円

- 地域・業種を問わずにコロナ禍で影響を受けた業種に給付されます。
- 売上比較対象月は、前年若しくは前前年の11月～3月。
- 提出書類は、確定申告書、売上帳、本人確認書類の写し、通帳の写し、その他
- 申請は、スマホなど電子申請となります。

確定申告資料袋 燕市産業カレンダー

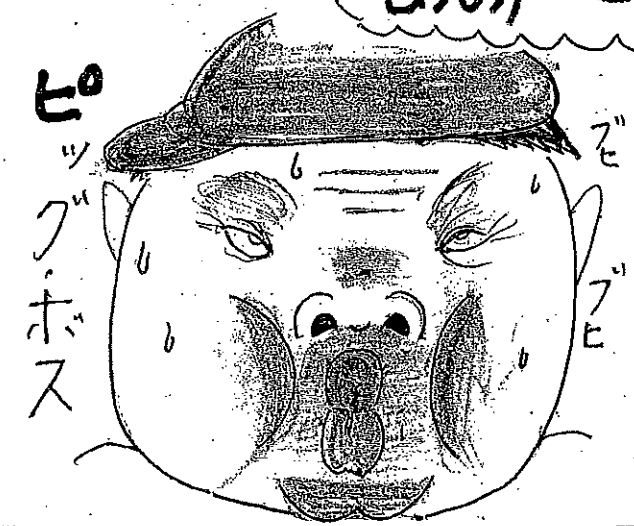
燕民商工会各位にお届けしています。資料袋には、「自主計算パンフレット」、「自主申告の計算ノート」等が収められています。
産業カレンダーは、燕民商共済会作成によるもので、来年2022年の総休日数は、107日となっています。

新商連共済会主催 いのちと健康を守る学習交流会

12月6日に、新潟市「割烹湖畔」で新商連共済会主催による学習交流会が開かれ、全県から59名の共済会員、役員が参加しました。燕民商共済会からも3名が参加し交流の輪に加わりました。
集会に先立ち、元国立感染症研究所室長・理学博士の加藤茂孝氏による「ウイルスと人類の闘いの歴史に学ぶ」と題しての講演がありました。
「人の感染は動物からであり、人が動けば病原体も動く」「ファンカ帝国征服やアステカ帝国の滅亡も天然痘等の感染症の流行が大きな原因。歴史の大きな転換期には感染症の流行がある。感染症との闘いが歴史をつくり、過去から学ぶ教訓として、「感染症対策のもっとも重要なものは不安を減らすこと。情報は透明性をもって迅速に発信することが大事」と結びました。

商工手帳 550円

あの声・この声・ふやき



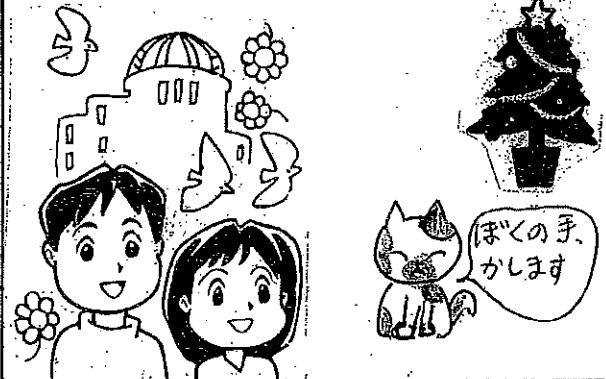
☆娘の上司が自分の事を「ビッグボスと呼んでくれ」と云、たそうですが影で「ビッグボス」と言ってるようです。

☆昔、忙しくて「ネコの手借りたいわ」と云ってたら、子供がネコを抱ってきました。今では家族の一員ミ〜ちゃんです。

聞いた怖い話……

- ①死んだ人からメールが届きました
- ②車の運転中、突然アシスト、自動ブレーキがかり車が停止しました。昔、この場所で女の子が事故で死んだところでした。
- ③真夜中、チャイムが鳴ったので、カメラを見ると男の人が立っていたので出てみると誰もいませんでした。

☆笑いの合いの娘さんの話。結婚しようとしていたら、彼が「自分の母の言葉にしろ忘れたいからそうしよう」といって別れたそうです。



☆床屋での事。ハゲた人に床屋さんが「料金は半額です」といって、お客さんは「全額払う」といって怒っていました。



SNSの時代は「うらやま」はやりません



俺のヘアースタイルは必ずかしのです。全額で当然です。